

## 弘前中央病院の具体的対応方針（その 2）

**弘前中央病院****役割・医療機能及び機能別病床数の考え方****【役割・医療機能】**

- 当院の主な機能である、放射線治療・人工透析・血管外科手術・がん治療（消化器・呼吸器）・肺結核治療・ペースメーカー埋込術等の特色を活かし、急性期医療の充実を図りながら長期の入院が必要な患者も対応してまいります。

**【病床規模の最適化に係る検証】**

- 当院は 174 床を急性期病床として運用してまいりましたが、近年では重症下肢虚血の患者、皮膚潰瘍や壊疽に対する形成外科治療が必要な患者、慢性心不全の患者など長期の入院が必要な患者が近隣の病院やクリニックからの紹介により増加しています。令和 6 年からは一つの病棟 60 床から 1 床を返還し、看護体制を見直したうえで 59 床を慢性期病床に転換して長期入院患者に対応してまいります。

**医療連携の考え方****【基本方針】**

- がん治療において三大標準治療とされる「手術治療」「抗癌剤治療」「放射線治療」を一つの医療機関で行える県内でも数少ない民間医療機関として活動中です。

**【具体的な医療連携】**

- 財団内系列病院の鳴海病院と各症例を通じて医療連携を図っています。
- 血管治療センターを有する当院の特色を生かし、他医療機関と連携し高度な治療を提供してまいります。
- 慢性期の医療が必要な患者に対し、地域の医療機関や介護施設と連携し多様なニーズに対応してまいります。